



## 乳がん

### ■早期乳がんの90%は治癒します

日本人女性の乳がん罹患率は年々増加しており、現在、胃がんを抜いて最も頻度が高いがんで、毎年約4万人の女性が乳がんにかかります。

日本では女性の25～30人に1人が生涯の間に乳がんになるとされますが、過度に恐れることはありません。現在、早期乳がんの90%以上が治癒しています。そのためには、毎年の健診受診による早期発見が大切です。



### ■乳がん検査の種類と特徴は？

乳がん検査には、視触診、マンモグラフィー、超音波検査などがあり、それぞれの検査には次のような特徴があります。

検査の種類	方法	特徴
視触診	医師が目で見、手で触れて調べる検査です。	しこりや乳房の様子を調べます。
マンモグラフィー	乳房専用のX線撮影機で乳房をはさんで撮影。乳房を圧迫するので痛みを伴うことがあります。	しこりの他に、乳がんの初期症状で見られる微細な石灰化も発見できます。乳腺が発達している若い女性の場合、X線を通しづらく異常を見つけにくいという難点があり、 <b>40歳以上の方に有効</b> な検査です。
超音波検査	乳房の皮膚にゼリーを塗り、プローブという機械を当てて乳房の内部を超音波で調べます。	触診ではわからない小さなしこりを見つけることができます。放射線を使わないので被曝の心配がありません。 <b>40歳未満の方に有効</b> な検査です。

※40歳代の方はマンモグラフィーと超音波検査の併用をお勧めします。

# ヘルシー・トピックス

## ここが知りたい！ 婦人科ドック・健

乳がんや子宮頸がんになる人が年々増加しています。しかし、どちらも早いうちに発見すれば、治癒できる病気です。早期発見・早期治療のために、定期的な健診を受けましょう。

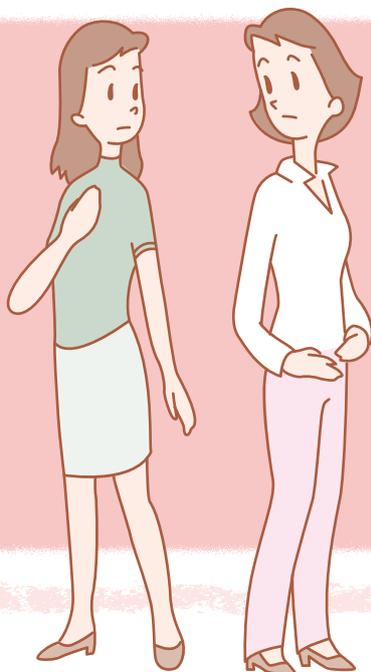
## 子宮がん

### ■子宮頸がんも、初期の発見が大切

子宮がんには、子宮の入り口(頸部)にできる「子宮頸がん」と、子宮の奥(体部)にできる「子宮体がん」があります。子宮体がんは閉経後の女性(特に50歳以上)に多く見られますが、子宮頸がんは40歳代で発見されることが多く、最近では20～30歳代の若い女性に急増しています。

子宮頸がんは、細胞診によって、がん細胞になる前の「異形成」の段階で発見し、治療を行えばほぼ100%完治すると言われていていますから、若いうちからぜひ健診を受けましょう。





■子宮がん検査の種類と特徴は？

一般的に、問診、視診・内診、細胞診、超音波検査が行われます。

子宮頸がんワクチン、間もなく承認!?

子宮頸がんの主な原因は、性交渉によるヒトパピローマウイルス (HPV) の感染。HPV はありふれたウイルスで、7~8割の女性が一生のうち一度は感染しますが、たいていは自然消滅します。ところが一部の人では持続感染により何年か経ってがんを発症することがあるのです。

HPVに対してはワクチンが約7割の感染を予防するとされ、世界80カ国以上でワクチンが承認され、若年層に対する予防接種の取り組みが始まっています。現在日本でも2社が承認を申請中で、間もなく使用できるようになりそうです。

検査の種類	方法
視診	外陰部や膣にがんや炎症がないかを調べます。
内診	膣内に挿入した指と、お腹に当てた手によって、子宮や卵巣に異常がないかを調べます。
細胞診	頸部細胞診：子宮頸がんの検査。綿棒やブラシなどの細い器具を使って子宮頸部の粘膜から細胞を採取して、がんを疑うような細胞がないか顕微鏡で調べます。 体部細胞診 <sup>※1</sup> ：子宮体がんの検査。子宮の奥に採取棒を入れ、細胞を採取して顕微鏡で調べます。この検査は出血や痛みを伴うことがあるので、若年者で体部がんが気になる人は、必要性を医師と相談の上で受診することをお勧めします。
超音波検査 <sup>※2</sup>	腹部エコー：プローブを自由に広範囲にわたって動かせるので、子宮の形態異常や子宮筋腫の有無、卵巣嚢腫などの診断も可能です。ただし、腹壁の脂肪や筋肉が妨げになって画像が不鮮明になることがあります。子宮の腹部側にある膀胱に尿が溜まった状態のほうがよく見えるので、この検査の直前はトイレに行かないで、できるだけ尿を溜めるようにします。 経膣エコー：膣内から撮影する方法で、プローブを子宮や卵巣に近づけるので、鮮明な画像を得ることができます。しかし超音波を当てられる範囲に限られるので、膣から遠くなるほど観察しづらくなります。また、10cm以上の大きな筋腫なども観察できません。腹部エコーと異なり、排尿した後でも検査が可能です。

※1：日航健保の契約機関（婦人科ドック）の検査項目には含まれていませんが、自己負担で受診可能な場合もあります。ご希望の方は医療機関にお問い合わせください。

※2：医療機関によっては、経膣エコーのみ、または腹部エコーと経膣エコーが選べる場合があります。詳しくは「健診機関のご案内」をご覧ください。

婦人科ドック・婦人科健診の情報を掲載しています！



「にっこうけんぽ」のホームページはこちらから  
<http://www.jal.co.jp/kenpo/>

※ JAL グループのイントラネットからもご覧いただけます。

ユーザー名：jalgroup

パスワード：kenpo